

公益財団法人東京子ども図書館 2019年度研修生募集について

東京子ども図書館では、2002年度より、研修生制度を発足させました。この制度は、将来公共図書館や学校図書館で、子どもと本をつなぐ仕事に携わりたいと希望する若い方々に、東京子ども図書館で実際に働く体験を通して、図書館の児童奉仕に必要な基礎的な理念、知識、技能などを、身につけていただくことを目的としています。本と子どもが好きで、長くこの分野で働きたいという意欲のある方のご応募をお待ちしています。以下の要項をよく読んで、お申込みください。

***募集人数**：若干名

***年齢**：原則として35歳まで。ただし、事情により、若干の幅を認めます。

***研修期間**：2019年4月より1年間。ただし、本人が希望し、館の事情が許せば、1年を超えない範囲で延長することもあります。

***研修時間**：研修時間は、原則として、週35時間、火曜日から土曜日の週5日、午前10時から午後5時までです。そのうち、平均して20時間を、実習、その他の業務に、10時間を演習、学習に、残り5時間を講義、見学等に充てます。

***研修内容**：研修内容は、以下の通りです。

- (1) 当館の児童室、かつら文庫、および資料室で実際に働くことにより、子どもに対する図書館奉仕と、それに関連したおとなへの奉仕を具体的に学ぶ
- (2) 館の作成したカリキュラムに従って、講義、文献講読、および演習によって、子どもの読書、子どもに対する図書館奉仕の理念、歴史と現状、国際的活動等について学ぶ
- (3) 新刊書を検討する「本の会」、基本的な本を読む会等への参加により、選書、書評・解題の書き方の基礎を学ぶ
- (4) 在籍期間中に、館が行うすべての講習会、講演会、その他の研修活動に参加する
- (5) 必要に応じて、館外の施設や機関を見学する
- (6) 図書館大会をはじめ、関連の学習会、講演会等に参加する
- (7) その他、館が研修上有益と認める諸活動に参加する

***研修費の一部助成**：出張費、資料費などの一部を助成します。

***応募方法**：研修生応募用紙（2枚）と、「子ども時代の読書の思い出」をテーマにした作文（A4原稿用紙、400字詰め縦書き5枚程度、自筆）に、返信用封筒（定形120×235mm 住所、氏名を明記し、82円切手を貼付したもの）を添えて、当館宛にお送りください。封筒の表に「研修生希望」と朱書きのこと。

***申込締切**：2019年1月15日（火）必着

***選考と結果の通知**：応募者多数の場合は、作文、面接等により選考します。詳細については、直接応募者本人に連絡します。選考の結果は、2019年2月上旬に、本人に連絡します。

もし、東京や近郊にお住まいの方で、まだ館にいらしたことがない方は、応募なさる前に、できればいちど館においでになることをおすすめします。館に足を運ぶ機会のない方は、館の「ごあんない」やホームページ、機関誌「こどもとしょかん」等を読んで、館の成り立ちや、活動内容をよく知ってから、応募するかどうかを決めてください。これまでの研修生の報告が、機関誌（98、101、107、110、114、122、126、130号）に掲載されていますので、参考になさってください。

東京子ども図書館の「ごあんない」や、機関誌「こどもとしょかん」の見本誌をご希望の方は、その旨お知らせください。

なお、地方からご応募なさる方、あるいは東京近郊にお住まいでも、ご家族とは別にひとり暮らししている方にとくに申し添えますが、研修生は、無給です。また、研修期間中は、夜間の講習会、お話し会等への参加が求められますし、時間外に講演会、学習会に参加することもあります。そのほか本を読むこと、お話をおぼえること、レポートの作成など、自分の時間を使ってしなければならないことがたくさんあります。この点は、よくお考えになってください。

公益財団法人東京子ども図書館

〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10

電話：03-3565-7711 ファックス：03-3565-7712

研修担当（内藤直子、加藤節子、床井文子）